



岡田

学校教育目標

10年間を見通した確かな学力と
豊かな人間性の育成

目指す子ども

ふるさ加佐を愛し 夢 未来に向かって歩み続ける子ども
~笑顔で いきき 自分から~

平成30年5月31日

舞鶴市立岡田小学校
学校だより No.4

<http://okada-es.maizuru.ed.jp>

体験すること…考えること…



スカッと晴れて爽やかな日もあれば、朝からじっとり雨模様の日もあります。暑かったり寒かったりで、体調不良を訴える児童もおり健康管理をするのも難しいこの頃です。親睦遠足、お茶摘み体験、修学旅行など多くの行事が目白押しのものでした。6月には、各学年の親子行事や地域懇談会などPTAの取組もあり、プール（水泳学習）も始まります。児童には、学校生活・学習活動にメリハリをつけ、安全に気を付けてじっくりと学習に取り組み、充実した6月にしてほしいと願っています。

5月9日には、地域の茶畑（鈴木様の畑）で、舞鶴茶生産組合の増茂様のご指導のもと、茶摘み体験をしました。4年生が地域の茶産業について学習しており、茶葉の摘み方を上手に教えてくれました。高学年は慣れた手つきで摘み取っていきます。班で収穫量を競いますが、摘み方が分からずまごまごしている低学年に、高学年が手を取って丁寧に教え、一緒に茶摘みを楽しんでいる様子が印象的でした。

5月10日～11日は、6年生が楽しみにしていた修学旅行でした。

由良川小学校6年生と一緒に奈良・兵庫・大阪をめぐり、日本の歴史的遺産に触れたり職業体験をしたりしながら、2日間たっぷり活動することができました。見学場所では、グループで行動することも多かったのですが、教師の指示のもとに、自分たちで相談しててきぱきと行動する姿が見られました。見学場所でのマナーやホテルの自室の片付け、班のメンバーを気遣う姿、



お互いに声を掛け合って自分たちで判断し行動する力など、6年生の「よさ」を様々な場面で見ることができました。また、由良川小学校の友達とは、今までにも共同学習をとおして、一人一人の特徴もよく知っており、お互いのことを思いやりながら行動していました。今後もますます交流を深めるとともに、今回の「旅」で学んだことや経験したことを、今後の学校生活に活かしてほしいです。

様々な体験的学習を積み上げながら、児童は多くのことを学びます。「百聞は一見に如かず」といいますが、実物を見たり体で実感することは、何にも増してよい学習になります。

しかし、それだけでは生きて働く力にはなりません。実物を見て体験し、自分なりに「考えること」が重要です。歴史的遺産に触れることも職業体験することも、茶摘みをする 것도、ただ見聞するだけでなく、体で感じ、理由を考え意味を理解し、自分にできることを実践することで、自分にとって確かな認識として定着し自信となって蓄積していきます。児童たちには、今後も体験的に学ぶチャンスがたくさんあります。そこで一人一人の児童が、自分なりに何を考え、何を理解し、何ができるか…。その問いかけが大切だと思います。



小中一貫で子どもを育てる② 見通しをもって

ました。由良川小学校の子どもたちと一緒に学習し中学校の雰囲気を経験しました。6年生にとっては次のステップへ向けて徐々に見通しが持てるように学習を進めていきます。

小中一貫教育の一環で加佐中学校に学習体験・部活動体験に行き



【6年生 英語の授業】

校長 波多野 暢 教職員一同